

令和7年度  
教育課程特例校における特別の教育課程  
【実施状況報告】

池田市立 五月丘小学校

## 1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年 年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特区認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

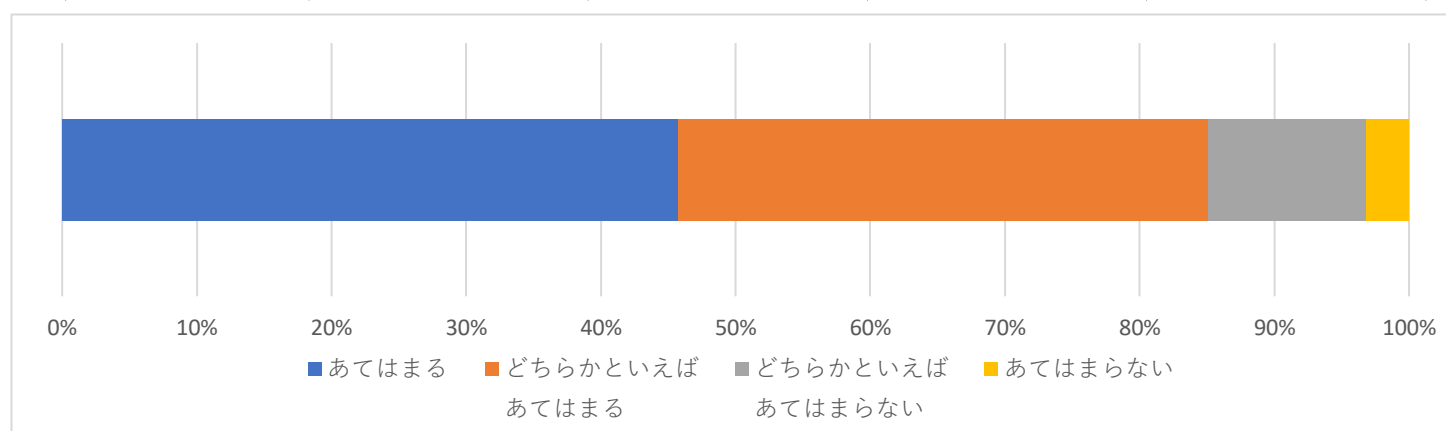
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

## 2. 児童アンケートの結果

### ① 英語の勉強は好きだ。

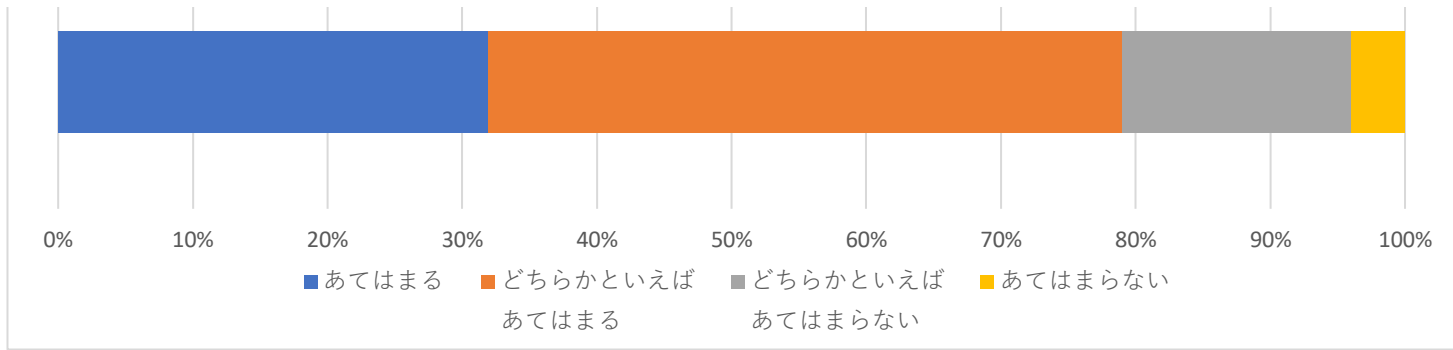
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	28	12	10	2
2年生	15	25	1	1
合計	43	37	11	3



### ② 英語の授業はよくわかる。

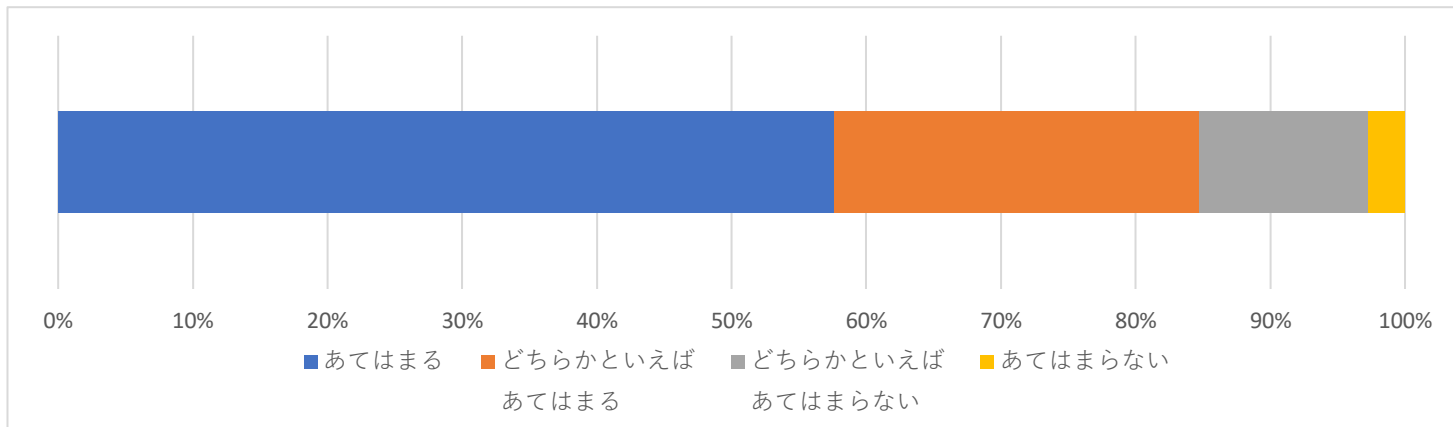
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	22	20	7	4
2年生	10	27	10	0
合計	32	47	17	4





③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

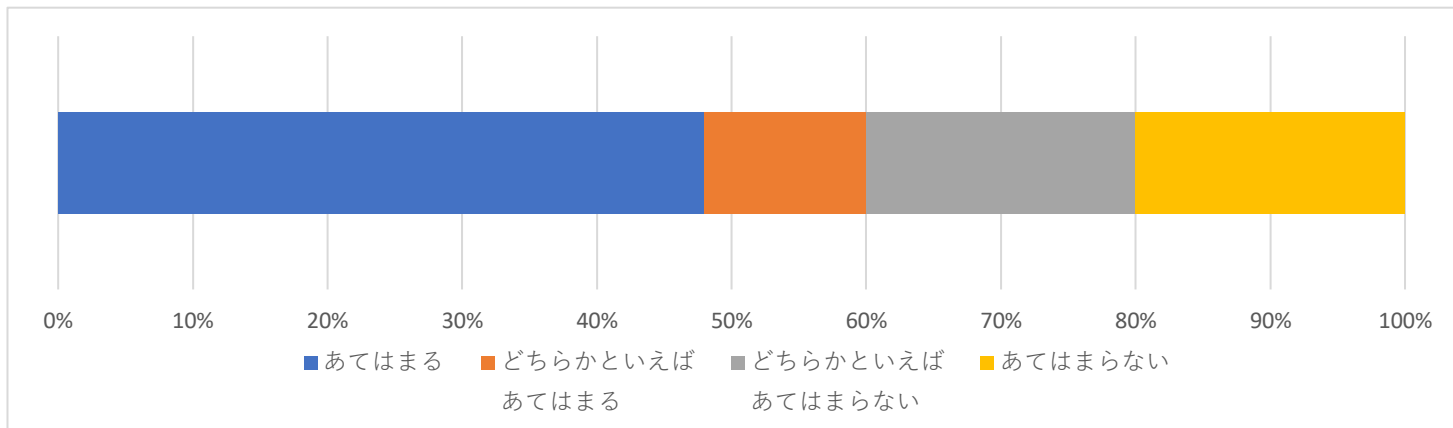
	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1年生	33	23	5	3
2年生	31	7	9	0
合計	64	30	14	3



### 3. 保護者アンケートの結果

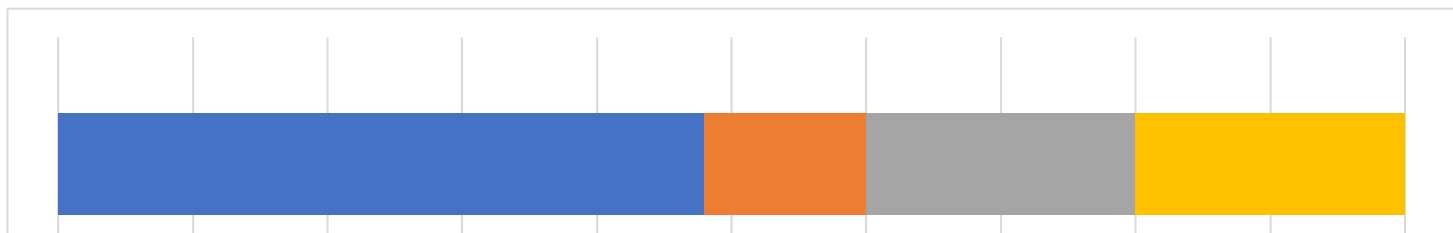
① 池田市では小学校1年生から英語の授業をしていることを知っている。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
合計	120	30	50	50



② 子どもは、英語の授業を楽しんでいると思う。

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
合計	120	30	50	50





#### 4. 学校関係者からの意見

- ・小学校1年生から英語の授業があるのは嬉しい。今後も継続してほしい。
- ・ALTが入ることによりネイティブの発音がきけるのが良い。楽しんで英語の授業を受けている。
- ・コミュニケーション力が高くなってほしい。低学年から英語に触れられるのはとても良い。もう少し時間数が増えると良い。
- ・池田市では1年生・2年生でそれぞれ15時間の英語活動を実施している。子どもたちは、あまり理屈は気にせずに感覚的にALTの英語を吸収しているように感じる。楽しいゲームや歌を通して聞いたり話したりする活動は3・4年生の外国語活動のスタートにととても良い影響を与えている。1・2年生の英語活動は、池田市の英語教育として今後も継続していただきたい。

#### 5. 今後に向けて

低学年から英語活動を通して英語に触れあう機会を多く作ることで、高学年になっても英語に対して苦手意識を持たず、意欲的に取り組めるような活動を充実させたい。また、いろいろな国の言語に出会うことも、生活科や総合的な学習の時間に取り入れ、多文化や多様性教育も進めていきたい。